

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第170回

令和4年10～12月期 実績

令和5年 1～3月期 予測

令和5年1月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内14商工会
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、
三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、
三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業46 建設業48 小売業71 サービス業66
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和4年10月～12月期実績、及び令和5年1月～3月期見通し
5. 調査時点 令和4年11月15日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、
 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

- 中国財務局 (中国地方の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/stat/keiki/index.html>

- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/273/1244079054510.html>

産業全体の概況

1.ポイント

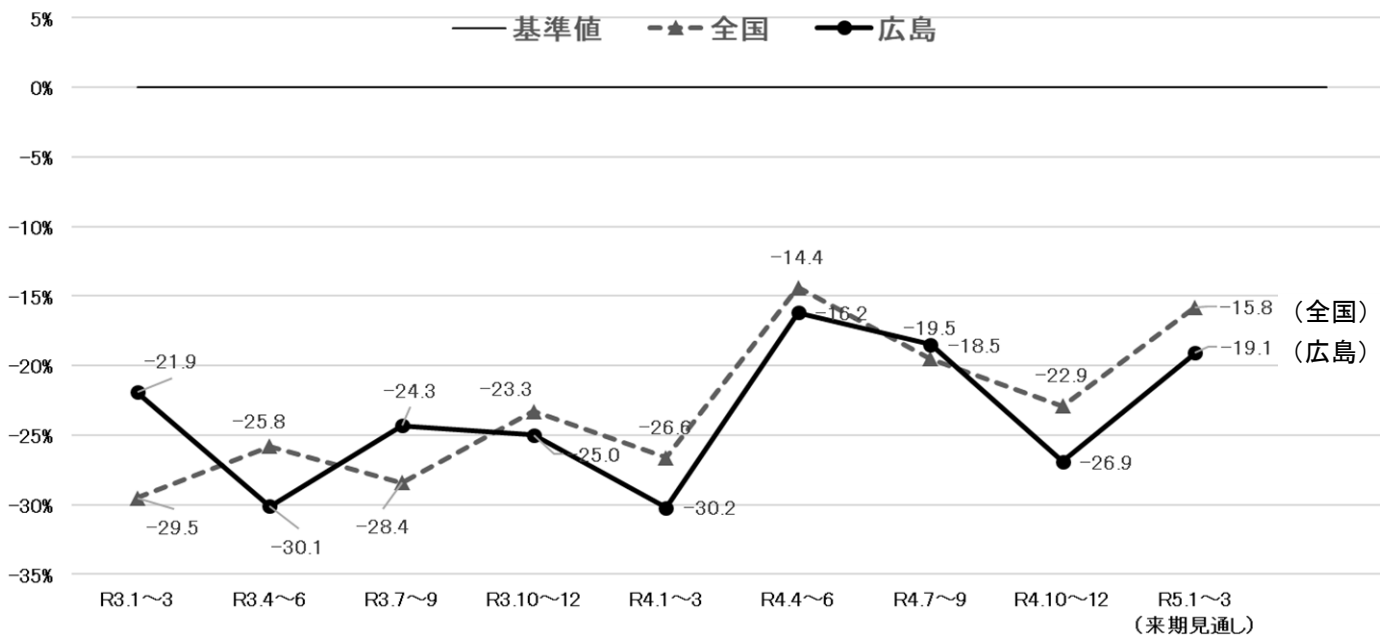
※(独)中小企業基盤整備機構「第170回中小企業景況調査(2022年10-12月期)のポイント」より

- ・中小企業の業況判断DIは、2期連続して低下
- ・全産業の原材料・商品仕入単価DIは過去最高値を更新
- ・宿泊業の業況判断DIは、コロナ前の水準に回復

2.広島県と全国(全産業)

※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

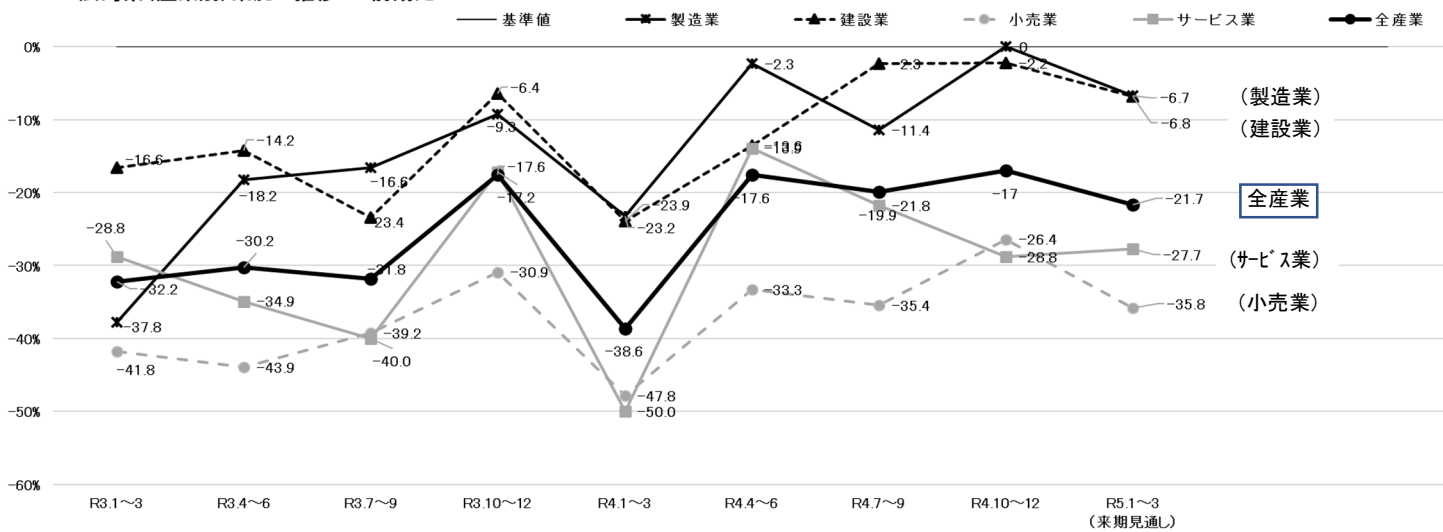
広島県と全国(全産業)業況DI推移 一前期比一



3.広島県(産業別)

※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 一前期比一



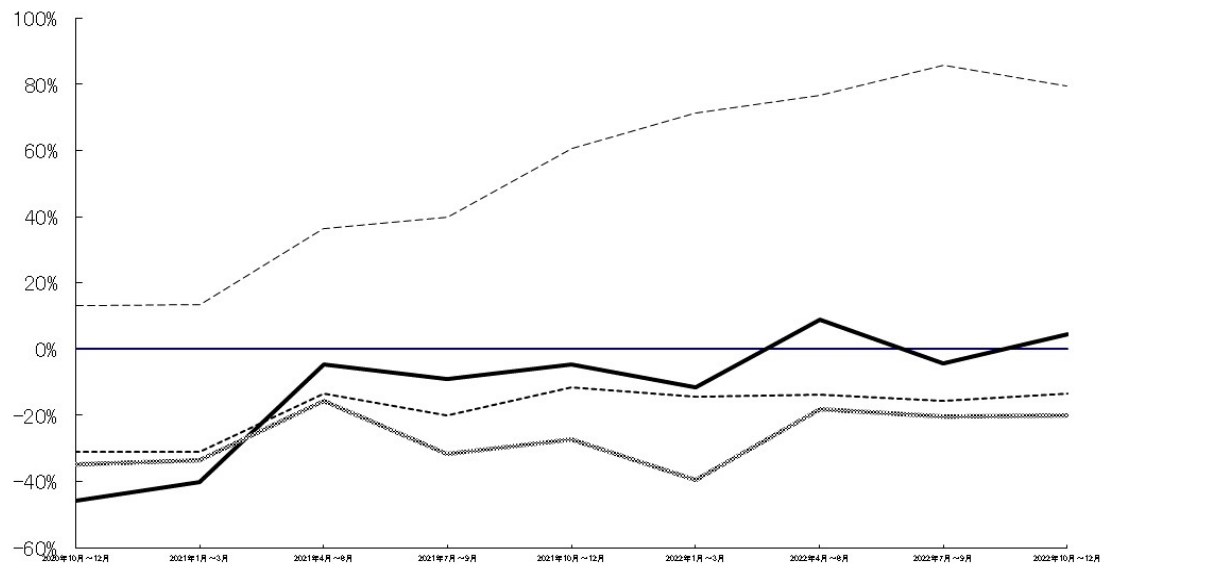
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		前期との比較	(来期見通し)	
	(前期)	(今期)		R5.1～3	今期との比較
売上額	R4.7～9	R4.10～12	↗	22.2	↗
原材料仕入単価	85.7	79.5	↘	65.9	↘
採算	-20.4	-20.0	→	-4.5	↗
資金繰り	-15.5	-13.4	↗	-6.7	↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



..... 企業のコメント

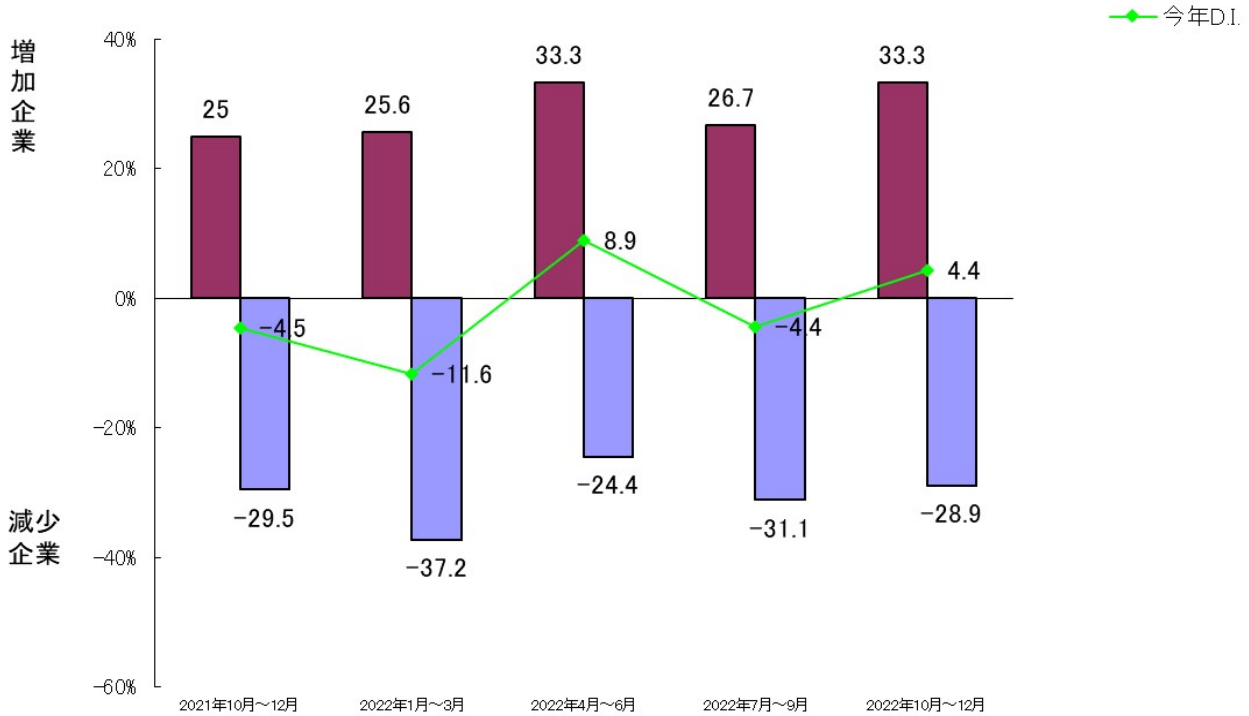
- 商品の一定の値上げは販売元に認めて頂いているが、10月の販売数量は前年比80%超であり、売上自体は前年並みとなっている。販管費は削減努力するも原価の上昇は避けられず前年並の厳しさは変わらない。
- 受注について、引き合いは多くなっている。しかし人件費・原材料等の高騰により収益は大変厳しくなると思われる。
- 世界的に進められている自動車のEV・ハイブリッド化による部品点数の減少に伴う仕事量の減少と確保難。
- 全ての原材料及び電力料金等の経費が高騰している。更に来年に向けても価格の高騰が予測されるが、価格の上昇する間隔が短く、なかなか製品単価、価格への反映が困難となっている。
- 委託加工は低調なまま悪い状況が続いている。産業資材は忙しく納期遅れとなり、人材確保も難しく困っている。外注工場も少なくなるばかり。和紙系に関しては同業が増えつつあり営業努力を重ねて売上増加を図る。
- 今期は車関連の業務が少ない中、福祉介護用品の動きがありなんとかバランスを保っている。年末にかけては動きはあるが先が読めない状況である。当面は小ロット生産業務の受注を強化していく。

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

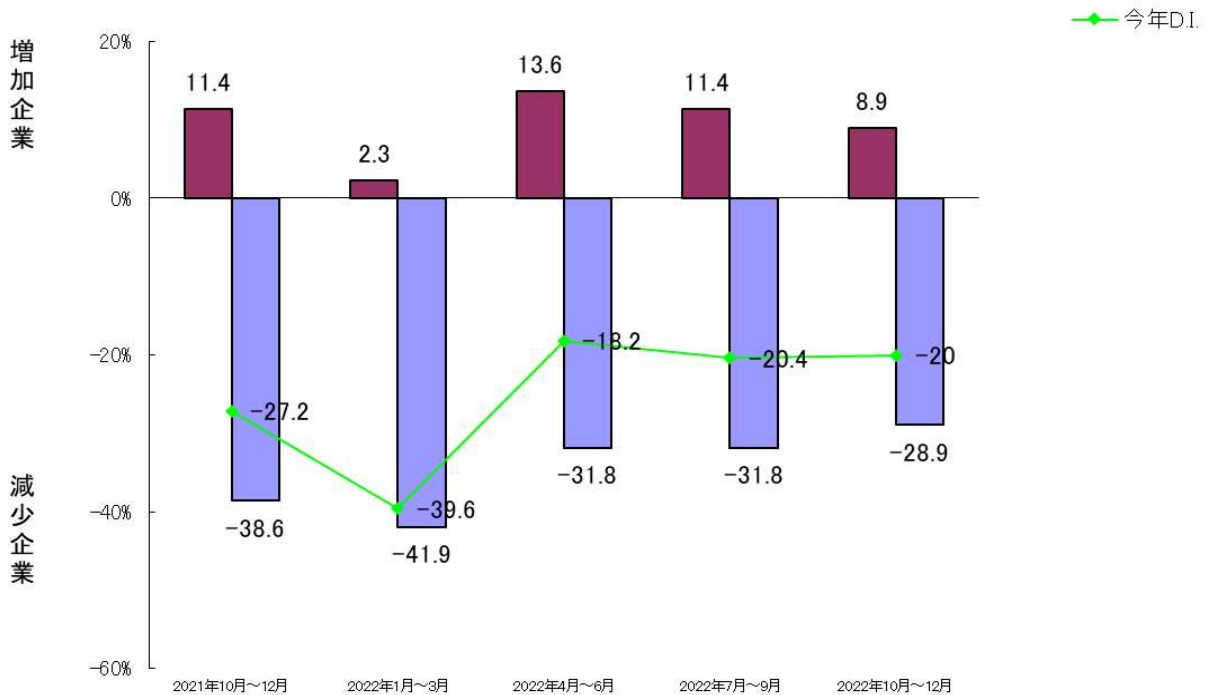
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 製造業

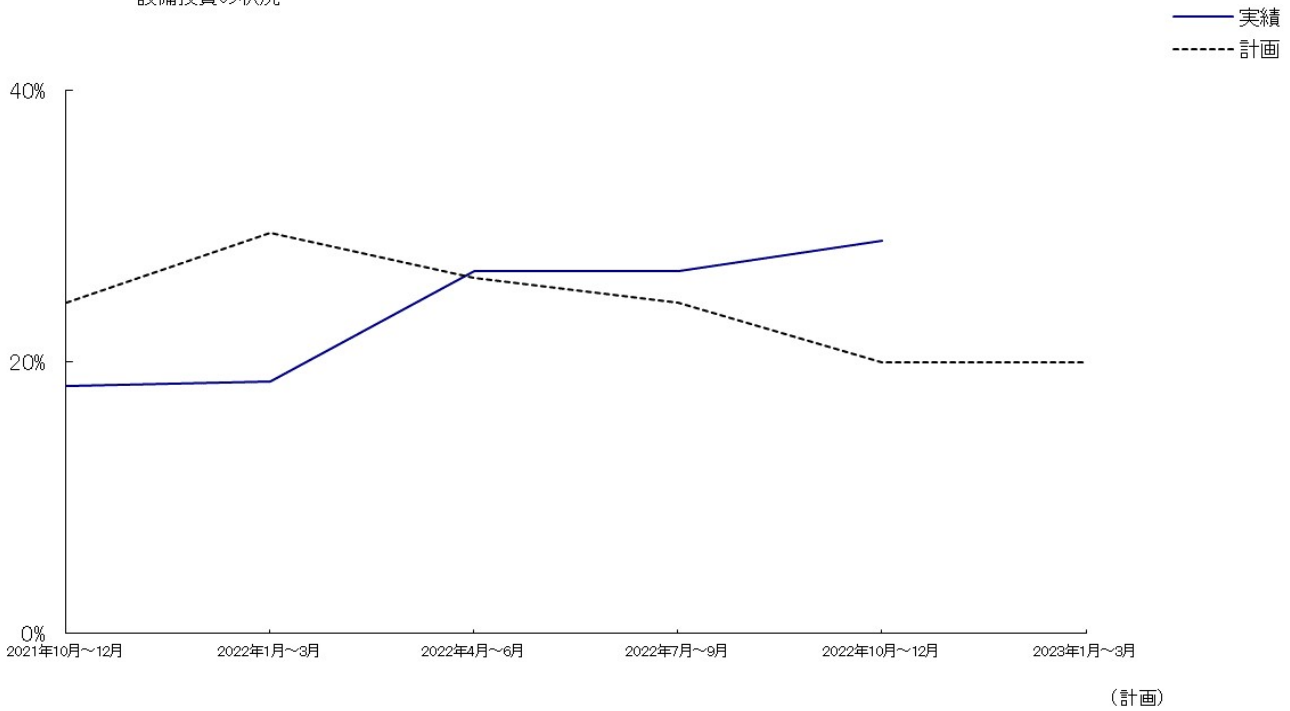
採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 製造業

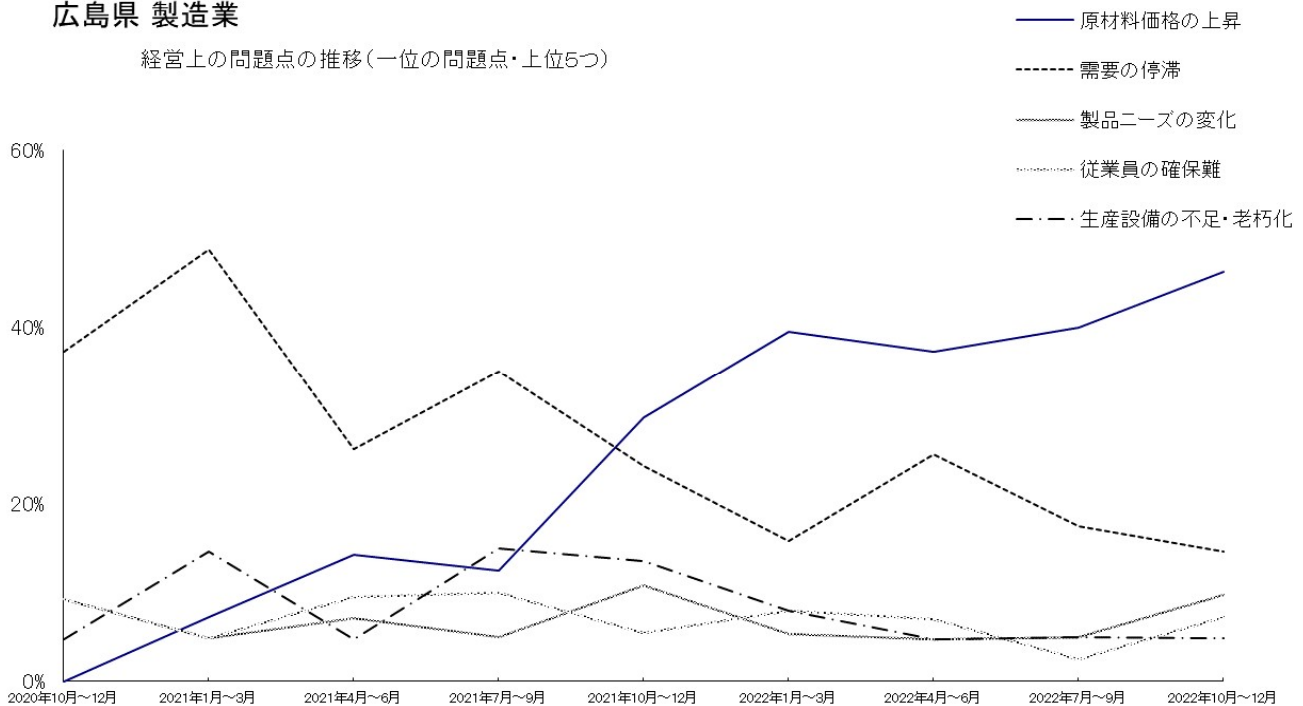
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



建設業（商工会地域）

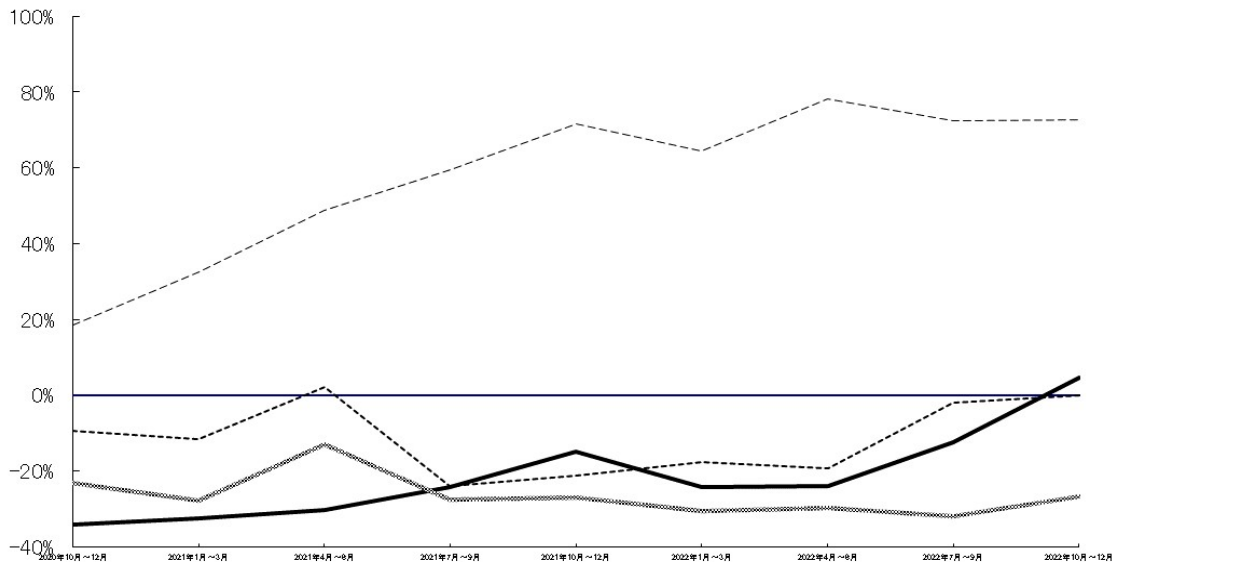
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R4.7～9	R4.10～12	前期との比較	R5.1～3	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-12.5	4.5	↗	-8.9	↘	
材料仕入単価	72.3	72.7	→	63.6	↘	
採算	-31.9	-26.7	↗	-25.0	→	
資金繰り	-2.1	0.0	↗	0.0	→	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D.1



..... 企業のコメント

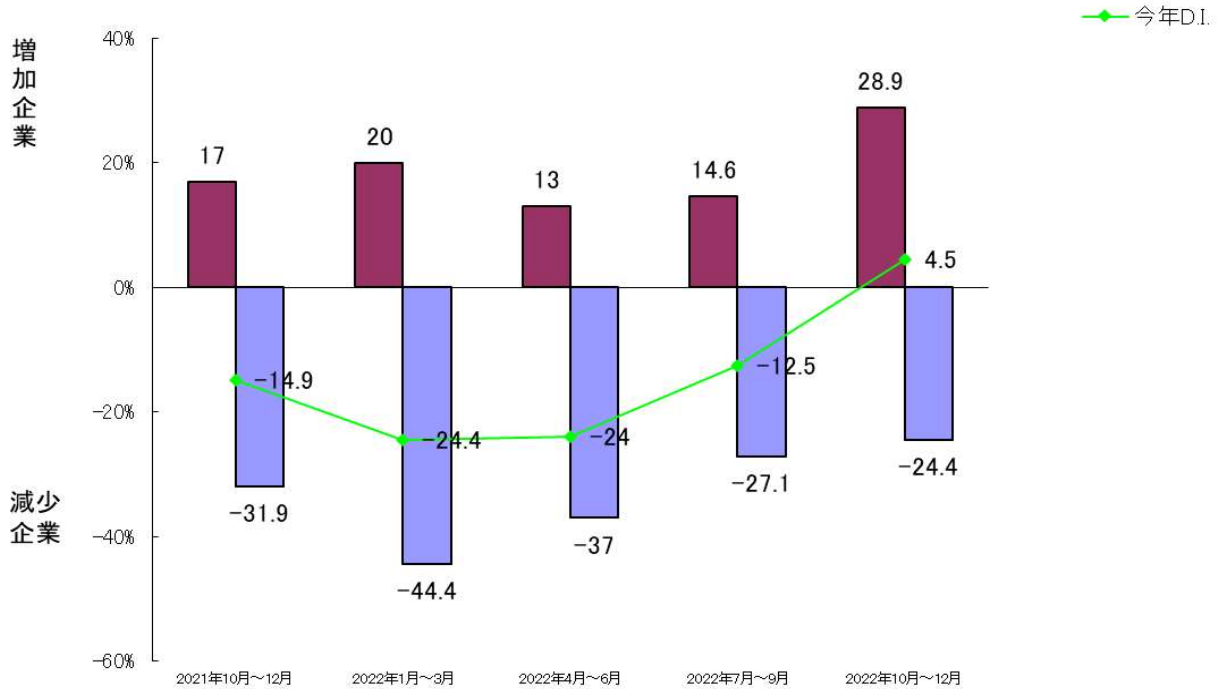
- ・ 前年同様に現在は公共水道工事を行っているので、特に変わりはない状況。しかし、商品の仕入れ価格の上昇は、公共工事の材料費にも影響していて、請負金額が大きい分、その影響も大きい。
- ・ 仕入先の資材が益々高騰して困っている。
- ・ 受注状況は良いが、従業員及び下請業者の確保がなかなか出来ず、工事の遅れで従業員の負担が多くなるのが心配。
- ・ 今後の経営活動は不安の中、少子化、高齢化により生活自体様式が変わりつつある。それらに対応できる設備、エコ住宅志向に展開予定。
- ・ 材料及び外注費も上昇し、利益を圧迫している。
- ・ 当社の業務は主に修理なので、近年のコロナ禍にもあまり影響は受けず、業況は開業当所から特に変動はないように思う。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

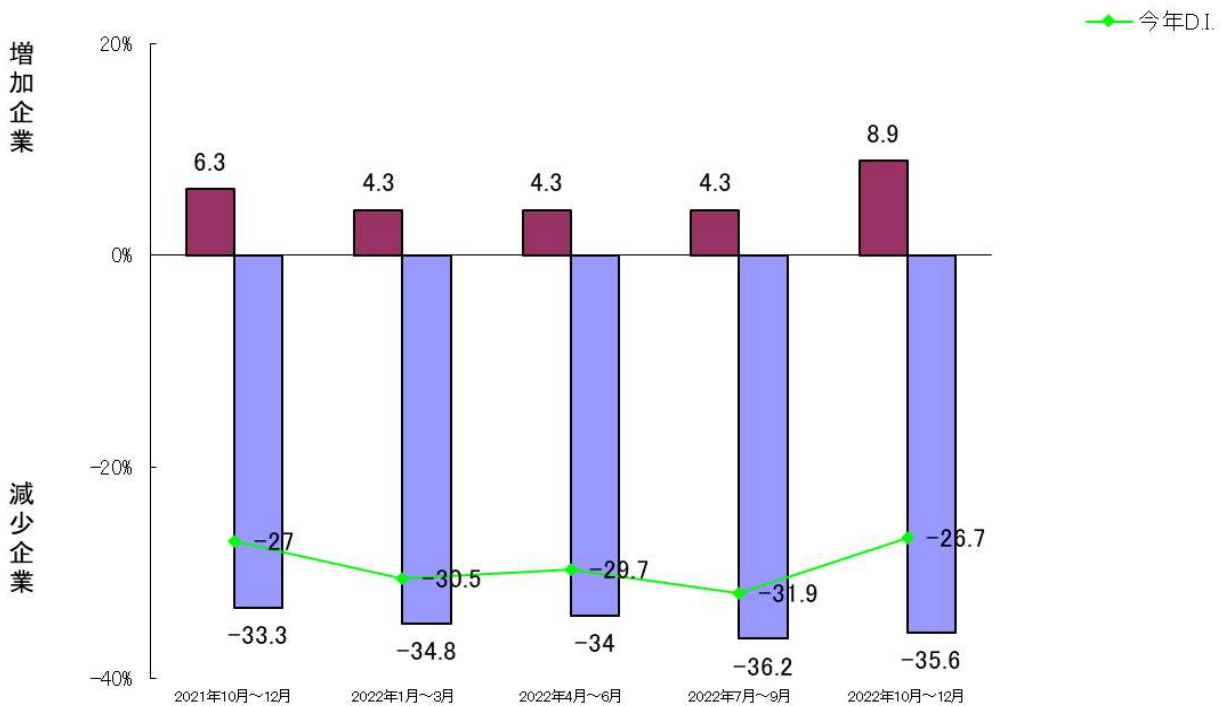
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

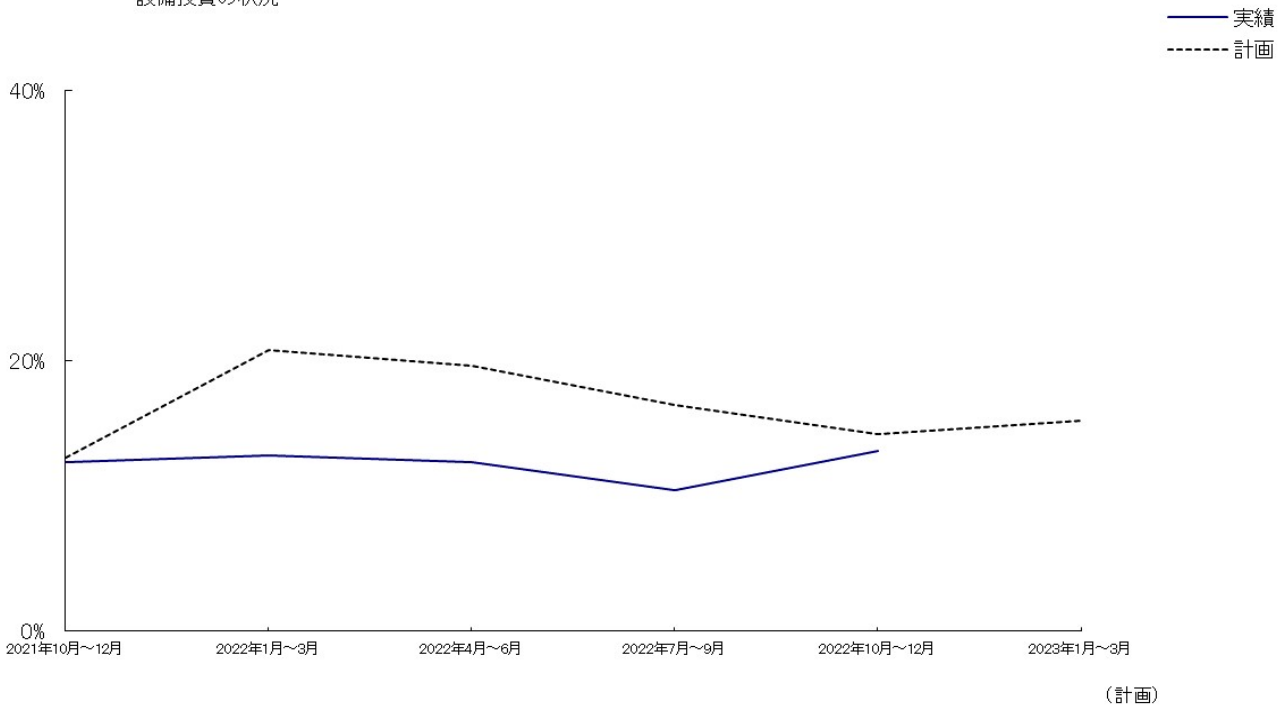
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 建設業

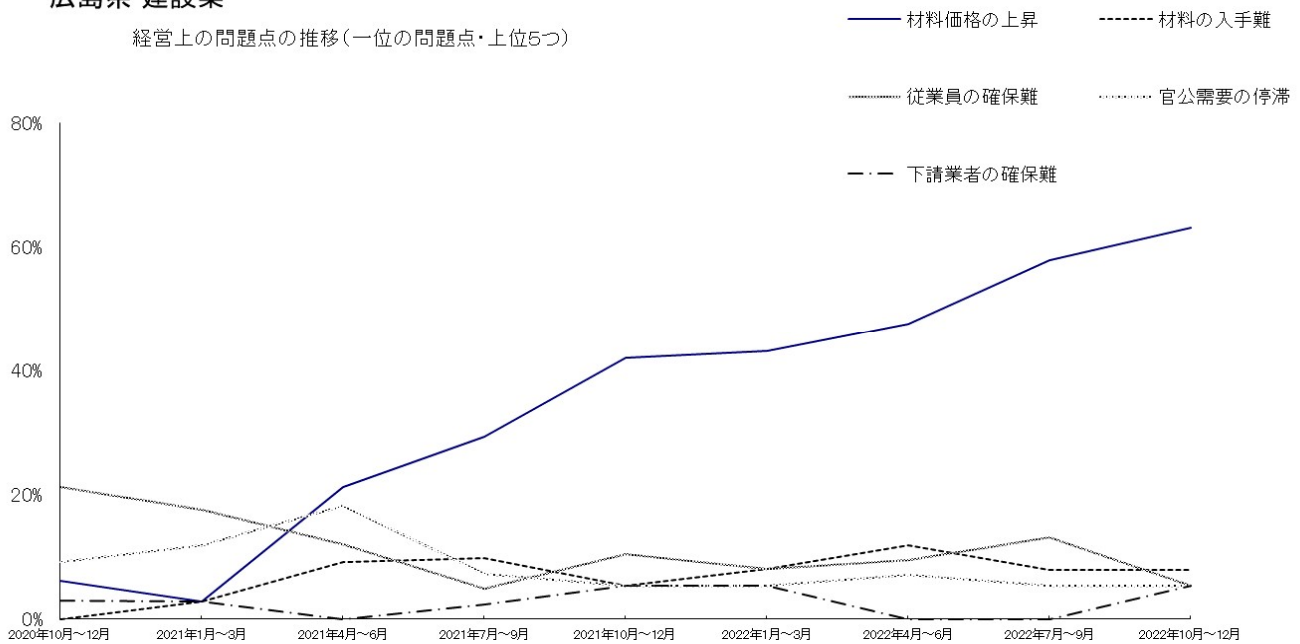
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



小売業（商工会地域）

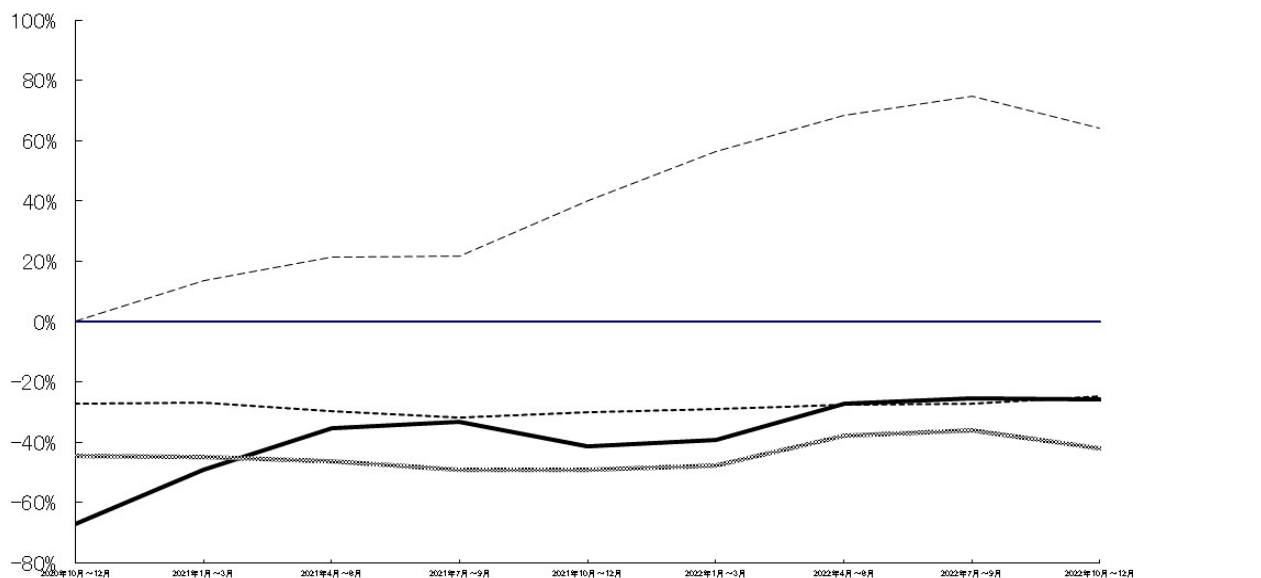
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期） 前期との比較	（来期見通し）	
	R4.7～9	R4.10～12		R5.1～3	今期との比較
売上額	-25.4	-25.7	→	-29.0	↘
商品仕入単価	74.7	64.3	↘	64.3	→
採算	-36.2	-42.1	↘	-42.0	→
資金繰り	-27.1	-24.7	↗	-23.2	→

広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



..... 企業のコメント

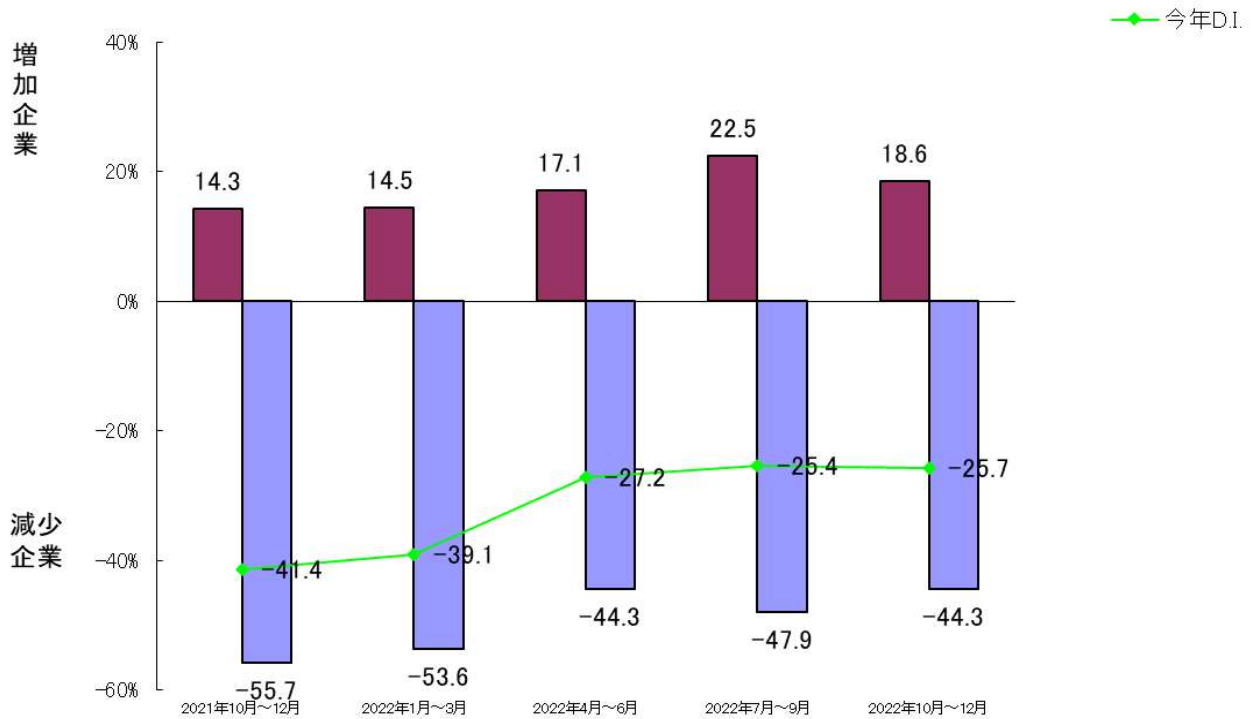
- ・ コロナ禍であるが、行楽の秋を迎えイベント等が夜も開催されるようになり人出が増え、天候にも恵まれて売上は上昇した。度重なる原材料や資材の値上げに困窮している。
- ・ 物価の上昇で消費者の購買意欲は薄れている。何よりも光熱費の上昇が想定外で経営状況は悪化するばかり。
- ・ 新車の納期遅れ、それによる中古車の値段高騰及び円安による部品仕入額の上昇は、改善の見通しが見つからない。
- ・ お土産需要が、コロナ禍前と比べると低いまま。客単価は下がり原材料は上昇するばかり。卸売が主軸なので、小刻みに価格を反映させることが難しいため利益が圧迫されている。
- ・ メーカーを通じた石油製品価格抑制補助金施策により、価格が安定している要因となり現況が好転している。補助金がなければ現況は例年通りであり、収支トントン又は、赤字経営となっている。
- ・ 昨年10月～12月の売上より少しづつアップしているが、一昨年前の売上とほぼ同じ。損益分岐点の売上を大きく超えてこないダメです。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

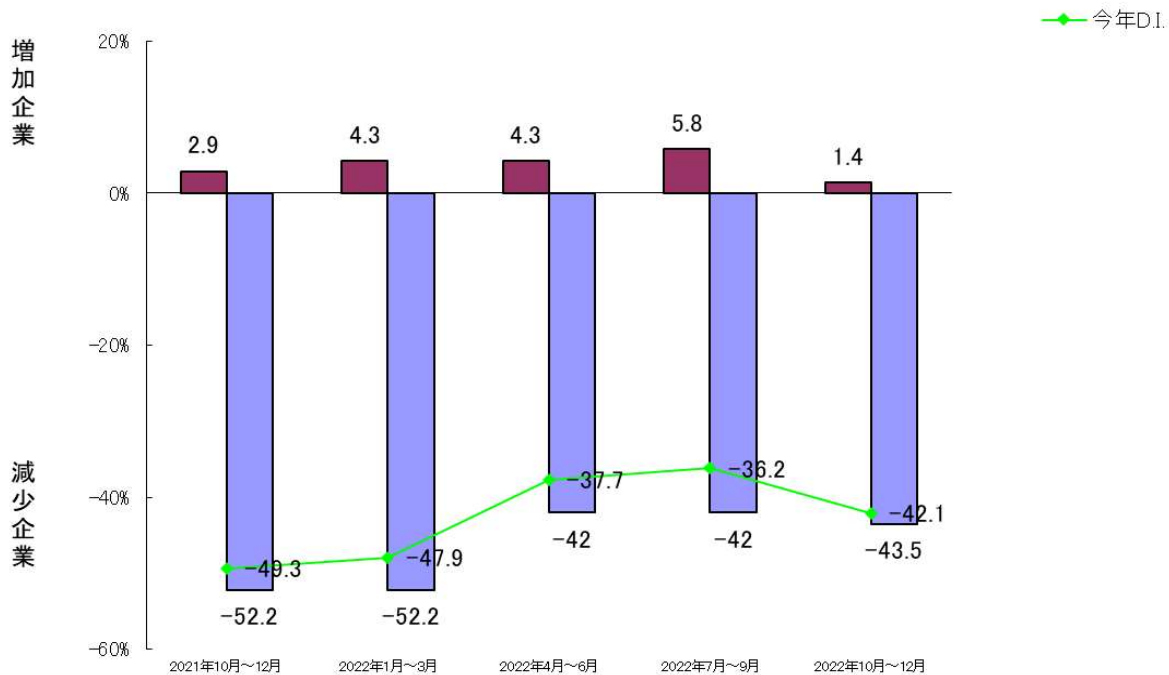
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

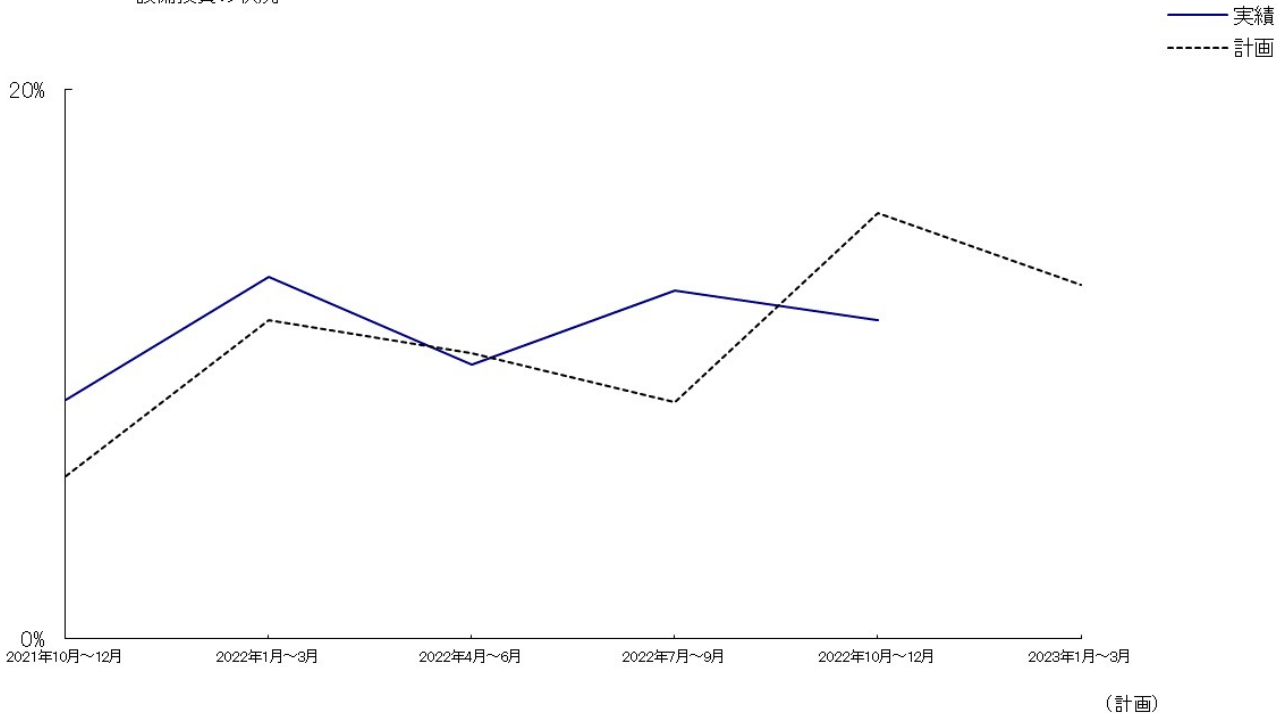


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島県 小売業

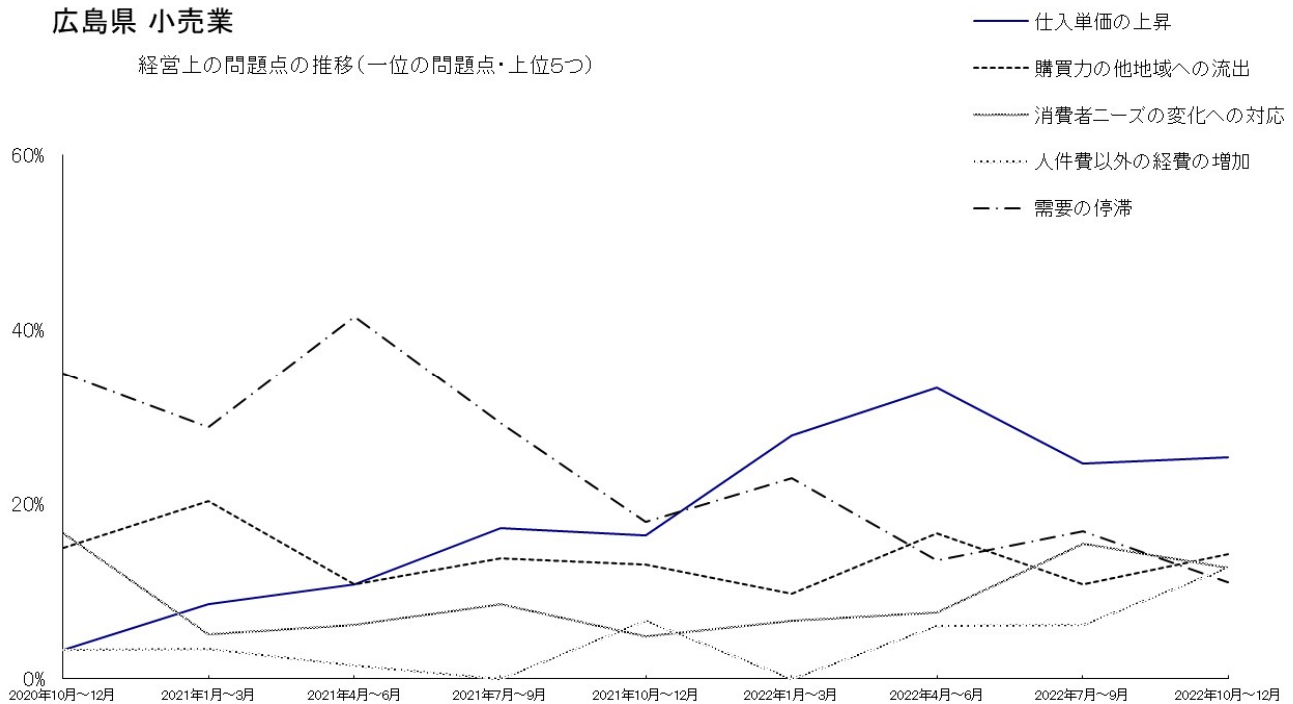
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



サービス業（商工会地域）

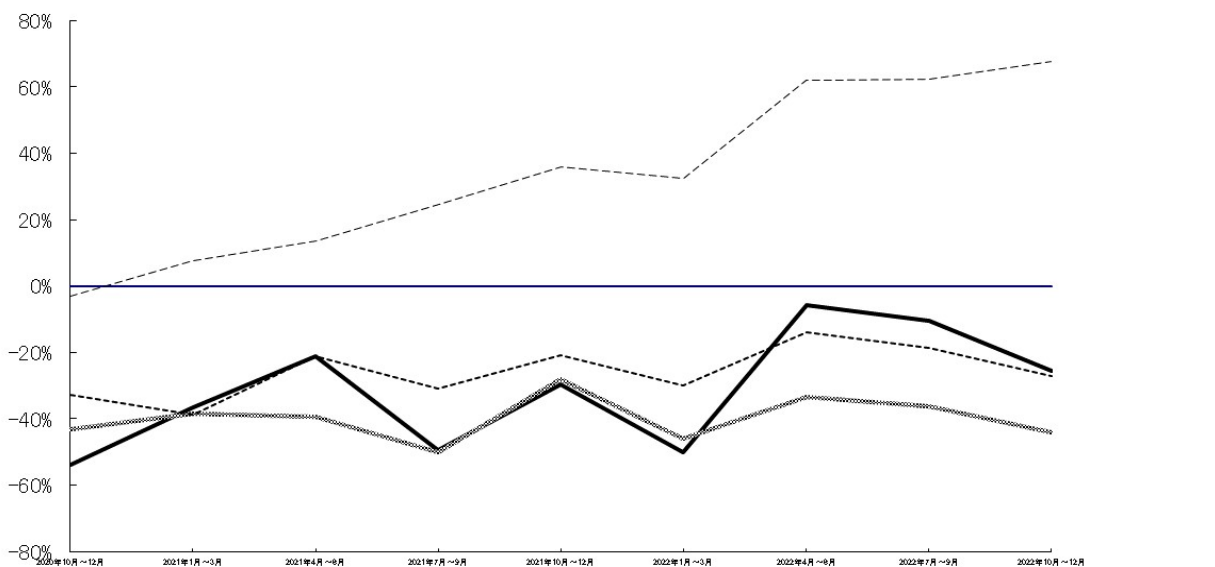
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R4.7～9	R4.10～12	前期との比較	R5.1～3	今期との比較
売上額	-10.4	-25.7	↘	-10.7	↗	
材料等仕入単価	62.2	67.7	↗	59.4	↘	
採算	-36.3	-44.0	↘	-36.4	↗	
資金繰り	-18.7	-27.0	↘	-30.2	↘	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



..... 企業のコメント

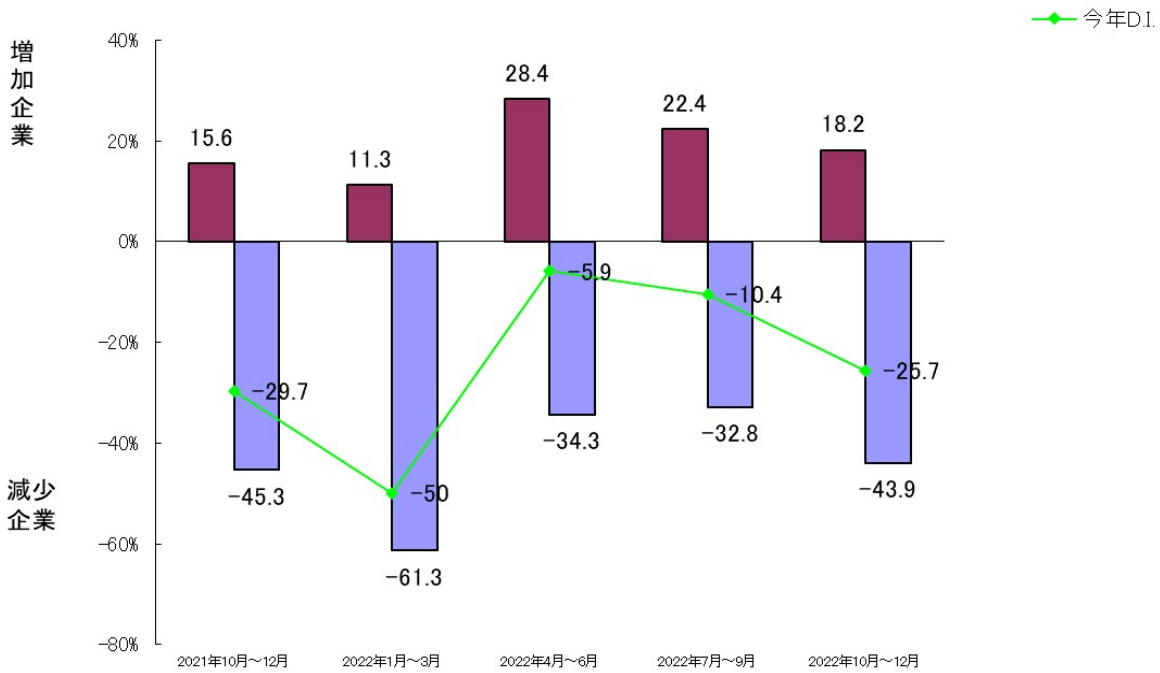
- ・ 例年通りに売上が減少する夏場を越して、行楽 イベントシーズンになったが、規則や制限等があった昨今と比べても、それほど盛り上がりがない。需要が変化していると感じる。
- ・ 補助金を活用し、照明をLED化。今後のランニングコストや修繕費の削減につながる。いろいろ工夫しないと、材料等の値上がりが続いて苦しい。
- ・ 中古車相場の上昇により、受注販売の仕入が高くなり、売上につながらなくなっている。
- ・ コロナ前と比べ外出が増えても、売上に変わらない。もう少し良くなってくれればと思う。
- ・ ベテラン乗組員が極端に不足している。船員の高齢化も進んでいて、次世代を担う乗組員を育ててくれないが、それだけの余裕がない。部品などの購入品が高騰してきており、業況はよくない。
- ・ コロナ禍が長引いて、宴会や法事の会合はコロナ禍以前のようには戻らないので、仕事の形態を変えなくては行けないが、そんなに簡単には変えられない。
- ・ 数字的には変わらないが、物販の利益でなく技術での収入を増加させたい。燃料光熱費などの上昇や研修費を考えても技術料を上げることを考えている。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

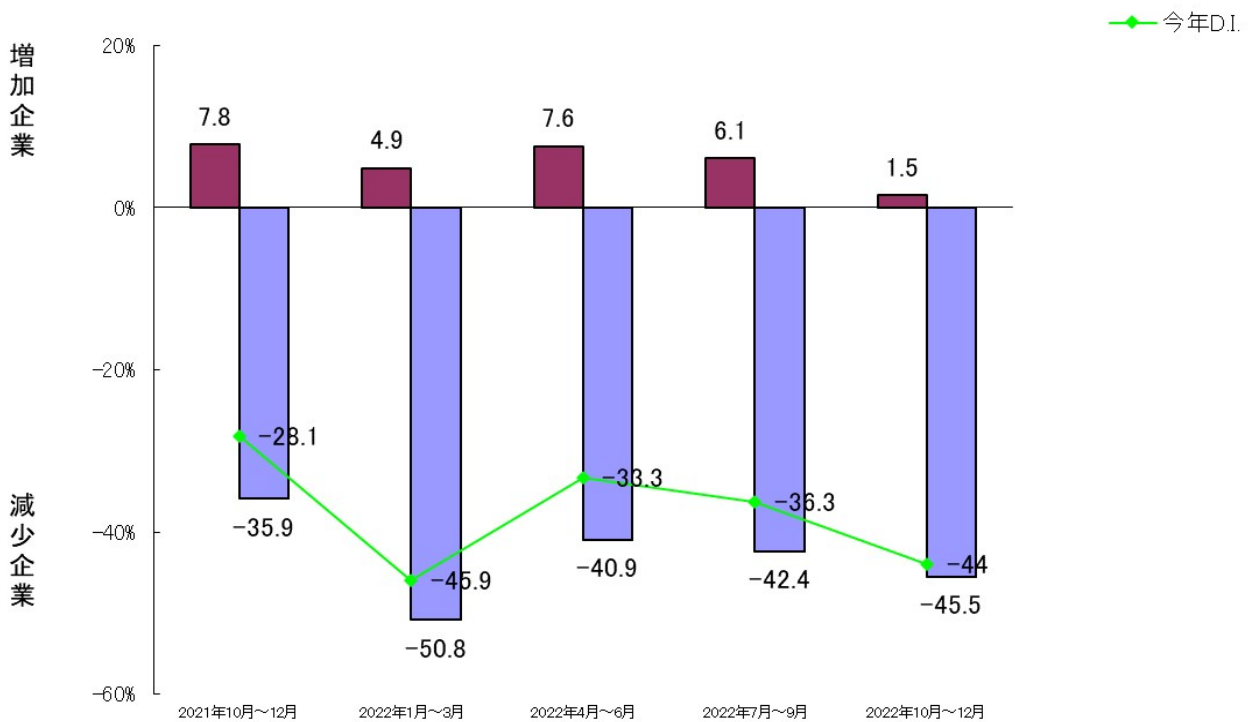
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

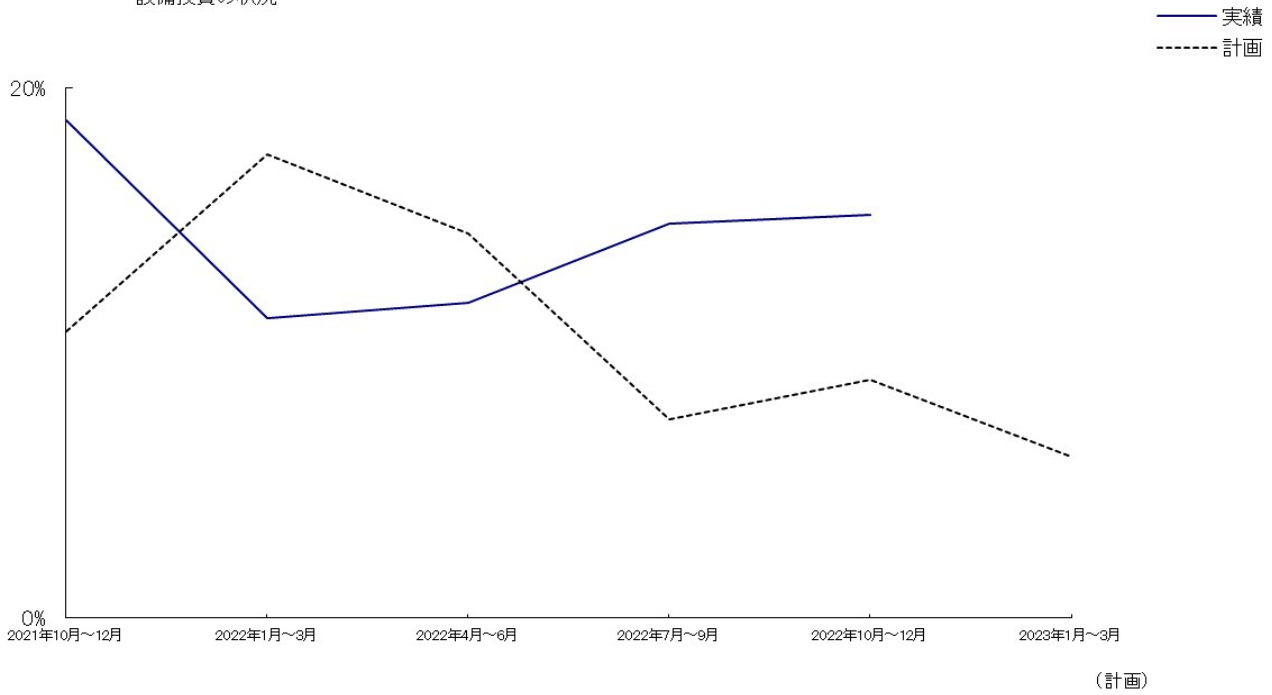
広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

